



2019年6月25日

EV 導入を 2 年前倒し：BMW グループが e モビリティの拡大に向けて加速

計画より 2 年前倒し：2023 年に 25 種類の電気駆動モデルをラインアップ

急拡大：2025 年までに電気駆動モデルの販売台数を毎年 30%以上増加

2021 年の電気駆動モデルの販売台数は 2019 年の 2 倍以上に成長予定

次世代 e モビリティとして、BMW Vision M NEXT および BMW Motorrad Vision DC Roadster を公開

2020 年以降、BMW のプラグイン・ハイブリッド・モデルには BMW eDrive Zones 機能を標準装備

BMW AG 取締役会会長ハラルド・クルーガー：「持続可能なモビリティをさらに推進」

ミュンヘン発：

フューチャー・ハイウェイ 2025 に向けて加速を続ける BMW グループは、エレクトロモビリティの拡大プログラムの進展に合わせてさらに一段ギヤを上げる。2025 年までに合計 25 種類の電気駆動モデルを用意するとしていた計画を、2 年早い 2023 年に実現すると発表した。ピュア EV、プラグイン・ハイブリッドおよび従来型エンジンという多様なドライブトレインを搭載するフレキシブルな車両アーキテクチャーによって、BMW グループはとりまく環境の変化に柔軟に対応する体制となっている。なお、25 種類の電気駆動モデルの半数以上がピュア EV（電気自動車）になる予定だ。

「私たちは持続可能なモビリティへの変革をさらに加速させ、企業として未来に適合させます。過去 2 年間にわたり、当社が足元推進している数多くの決定を行ってきました。当社の電気駆動モデルの販売台数は、2021 年には 2019 年の 2 倍に達する予定です。」BMW AG 取締役会会長のハラルド・クルーガーはこのように語り、さらに「BMW グループは、当初の予定より 2 年早い 2023 年には 25 種類の電気駆動モデルを用意します。われわれは 2025 年に向けて急成長を遂げると予測しています。電気駆動モデルの販売台数は、毎年平均 30%増加すると見込んでいます。」と続けた。

BMW グループは、新しいコミュニケーション・フォーマットとなる#NEXTGen の一環として、次世代のモビリティとその実現に向けてのステップを紹介する。BMW Vision M NEXT は、BMW ブランドのダイナミックな未来を、一目でわかる電動スポーツカーという姿で垣間見せる。BMW Vision M NEXT はドライバーに焦点を当てており、彼らを究極のドライバーに変えるためのインテリジェント・テクノロジーを備えている。BMW Motorrad Vision DC Roadster は、代替駆動方式による BMW モーターサイクルを予見するものだ。この極めてエモーショナルなモーターサ

イクルは、BMW Motorrad のアイデンティティとその象徴的な外観を維持しているだけでなく、新たな形態のドライビング・プレジャーを提供する。クルーガーは次のように述べた。「当社のビジョンは明確です。持続可能な方法で生産された持続可能なモビリティです。2020 年以降、世界中のすべての拠点で再生可能なエネルギーによる電気のみを購入することを目標に設定しています。」「私達は、あらゆる側面で社会的責任を果たし、エミッション・フリーに厳格に取り組んでおり、同時に従業員、株主そして投資家に対する企業責任を果たします。」

BMW グループ：エレクトロモビリティのパイオニア

e モビリティのパイオニアとして、BMW グループは、すでに電気自動車の大手サプライヤーであると言える。同グループは、2019 年末までに、50 万台を超える車両にピュア EV またはプラグイン・ハイブリッドのドライブトレインを搭載することを目指している。2 年以内に 5 台のピュア EV を投入する。これまでに製造された 150,000 台以上の BMW i3* と並行して、今年オックスフォード工場（英国）にてピュア EV の MINI の生産が開始される。2020 年にはシェンヤン（瀋陽、中国）でのピュア EV の BMW iX3 の生産、2021 年にはディンゴルフィン（ドイツ）での BMW iNEXT、そしてミュンヘン工場（ドイツ）での BMW i4 の生産が続く。

BMW グループは、豊富な種類のプラグイン・ハイブリッドを含む市場で最も多くの電気自動車を提供している。今年のジュネーブ・モーターショーでは、新型 BMW X3 プラグイン・ハイブリッド* と並び、BMW 3 シリーズ*、BMW 7 シリーズ*、および BMW X 5* の拡張されたエレクトリック・レンジの最新プラグイン・ハイブリッド仕様が発表された。数週間後には、中国市場向けに現地生産された BMW X1 ロングホイール・ベース・バージョン* の最新プラグイン・ハイブリッド仕様が上海モーター・ショーに出展された。今夏後半には、次世代テクノロジーとさらに長い電気駆動航続距離を備えたプラグイン・ハイブリッド仕様の BMW 5 シリーズ* と BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー* も発売される予定だ。来年は、BMW X1 と BMW 3 シリーズ ツーリングのプラグイン・ハイブリッド・モデルが続く。このように多様な電気駆動コンセプトが揃っているということは、道路交通における持続可能なモビリティに対してより開かれた技術の重要性を明確に示している。

BMW グループは、エミッション・フリーのモビリティを推進し、その効果的な支援を提唱してきた。将来のモビリティの要求は多面的になるだろう。世界中の顧客のモビリティ・ニーズを満たすただ一つのソリューションが存在するわけではない。たとえば、農村部に暮らす人々は、都市部の人々とは異なるモビリティのための技術ソリューションを必要としている。

2020 年以降のプラグイン・ハイブリッドに標準装備される BMW eDrive Zones

2020 年以降の BMW プラグイン・ハイブリッドに標準装備される BMW eDrive Zones 機能によって、プラグイン・ハイブリッドが都市部でエミッション・フリー・モビリティの達成に果たす効果的な役割が実証される。エミッション・フリー

走行専用の「グリーン・ゾーン」を設けている都市では、ジオフェンシング・テクノロジーによってこのゾーンを自動的に認識することができる。車がこれらのゾーンに入ると、自動的に純粋な電気駆動モードに切り替わる。このようにして BMW は、このエリアではプラグイン・ハイブリッド車を電気駆動のみで走らせて、ピュア EV と同様にグリーン・ゾーンへのアクセス権を得る道を開いていく。

この新しいタイプの操作戦略は、プラグイン・ハイブリッド車による CO2 排出量削減の可能性を大幅に高める。電気駆動システムの利用を増やすと、効率が最適化されるだけでなく、特に都市交通における顧客の運転コストの削減にも役立つ。ロッテルダム市と地元のエラスムス大学との共同による BMW グループの「エレクトリック・シティ・ドライブ」パイロット・プロジェクトが、BMW eDrive Zones 機能のアイデア誕生後の最初の実生活でのテストとなる。

新しい#NEXTGen 通信フォーマット

BMW グループは、「BMW グループ#NEXTGen」によって、将来のテクノロジー、サービス、および製品発表のための新しい方法を取り入れている。6 台のワールド・プレミアと 2 台の非常にエモーショナルなビジョン・カーを体験いただくために、国際的なジャーナリスト、アナリスト、その他のステークホルダーをミュンヘンの BMW Welt に招待した。プログラムは、6 月 26 日のグローバル・インフルエンサー・デーによって締めくくられる。

このようにして BMW グループは、国際モーターショーや技術と未来の見本市への既存の世界的関与に基づいて「BMW グループが作成した」個人モビリティのための正規の独立フォーマットを構築している。新型モデルのワールド・プレミアに加えて、同グループのすべての D+ACES（デザイン、自動運転、コネクティビティ、電動化、サービス）分野の最新の技術開発に焦点が置かれている。

*：消費量と CO2 排出量のデータ：

BMW i3 (120Ah)：電力消費量（複合）：13.1kWh/100km；CO2 排出量（複合）0g/km

BMW i3s (120Ah)：電力消費量（複合）：14.6-14.0kWh/100km；CO2 排出量（複合）0g/km

BMW 330e セダン：燃料消費量（複合）：1.9-1.6 ℓ/100km；電力消費量（複合）：15.4-14.8kWh/100km；CO2 排出量（複合）：43-37g/km

BMW 745e セダン：燃料消費量（複合）：2.3-2.1 ℓ/100km；電力消費量（複合）：15.6-15.1kWh/100km、CO2 排出量（複合）：52-48g/km

BMW X5 xDrive45e：燃料消費量（複合）：2.1 ℓ/100km；電力消費量（複合）：23.0kWh/100km；CO2 排出量（複合）：49g/km（暫定値）

BMW X3 xDrive30e：燃料消費量（複合）：2.4ℓ/100km 以上；電力消費量（複合）：22.7kWh/100km 以上、CO2 排出量（複合）：56g/km 以上（暫定値）

BMW X1 xDrive25Le : 燃料消費量 (複合) : 1.3 ℓ/100km ; 電力消費量 (複合) : 15.6kWh/100km、CO₂ 排出量 (複合) : 31g/km

BMW 530e iPerformance セダン : 燃料消費量 (複合) : 1.8-1.6 ℓ/100km ; 電力消費量 (複合) : 14.5-13.6kWh/100km、CO₂ 排出量 (複合) : 41-36g/km

BMW 225xe iPerformance アクティブ ツアラー : 燃料消費量 (複合) : 2.5-2.3 ℓ/100km ; 電力消費量 (複合) : 13.7-13.4kWh/100km ; CO₂ 排出量 (複合) : 57-52g/km

燃料消費量、CO₂ 排出量および電力消費量の数値は、現行の欧州規格 (EU) 2007/715 に規定される測定法に基づいて計算されている。この情報はドイツの基本装備の車両に基づいている。数値範囲は選択されたホイールおよびタイヤ・サイズとオプション装備の違いを考慮に入れている。

消費電力、CO₂ 排出量、および航続距離は、新しいWLTP テスト・サイクルに基づいて計算され、選択したタイヤ・フォーマットに応じて、比較のためにNEDCに適合されている。これらの車両については、税およびCO₂ 排出量に基づくその他の自動車関連税などの評価によって、ここに掲載されているものとは異なる数値が適用される可能性がある。これらの数値は暫定的なものである。

新車の公式燃料消費量および公式CO₂ 排出量の詳細については、「新車の燃料消費量、CO₂ 排出量および電力消費量に関するマニュアル」を参照。この資料は、販売店、Deutsche Automobil Treuhand GmbH (DAT), Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen および <http://www.dat.de/angebote/verlagsprodukte/leitfaden-kraftstoffverbrauch.html> から入手できる。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクティブ・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>